



国際交流員ウィルペルトのコラム

音楽学校 Die Musikschule (ディムジクシュール)



皆さんは楽器を習ったことがありますか？

以前、自己紹介のコラムでも書きましたが、私は日本に来る前に和太鼓教室に通っていました。そこで、篠笛の奏者が日本に帰国してしまった後、ある曲のメロディーを吹けないかと頼まれました。中学時代の親友がフルートをやっていて、私にも少し経験があったからやってみようと思いましたが、ヨーロッパで日本の笛の先生は見つけにくいので、動画を見ながら学ぼうとしました。

最近、せっかく日本にいるので、篠笛の持ち方、唇の当て方や吹き方、指の位置などを先生に見てもらえればいいなと思い、ネットで下野周辺の笛の先生を探してみると、すごい専門家の先生しか出てきませんでした。そして、ドイツだったら初級クラスというよりマスタークラスに近いレッスン料でした。

それで、ドイツの音楽学校「Musikschule」のことを懐かしく思い出したので、紹介しようと思います。



Musikschuleでは、あらゆる年代の人が、さまざまな楽器や音楽に触れることができる



ドイツでは、音楽学校は公立図書館や市民ホールと同様に、ほとんどの市や郡で常設の公共文化教育施設の一部となっています。市・自治体や非営利団体が運営する公立音楽学校が全国で約950校存在し、約150万人の子供と大人が楽器のレッスンを受けています。公立の音楽学校は、通常、早期音楽教育（4～6歳）、楽器レッスン、ボーカルレッスン、合唱団、オーケストラ、ビッグバンド、大人の音楽教育を提供しています。音楽的な方向性としては、本格的なクラシックと、ロック、ポップス、ジャズ、ヒップホップなどの軽音楽分野の両方があります。



早期音楽教育のクラス

一般的に、音楽学校で教えるのは、音楽大学やコンセルバトワール（音楽院）で楽器を学んだ有資格の楽器教師です。個人レッスンに加えて、グループレッスンもよくあります。学費も結構お財布に優しいと思います。学校によって異なるのですが、例えばベルリン市の音楽学校では、週1回30分の個人レッスンの場合、月謝は6,200円です。週1回1時間だったら、12,300円です。週1回30分のグループレッスン（4人以上）の場合、月謝は2,700円、1時間だったら5,300円です。さらに、世帯収入が一定基準以下の場合、レッスン料が安くなります。楽器も月々800円から1,400円までの値段で借りることができます。楽器のレッスンを受けている人は、オーケストラやバンドの参加は無料です。私は子どものころ、オーケストラに参加するのが一番楽しかったです。



時々、オープン学校の日があります。新しい楽器を習いたいと思う人に、先生たちが教室を開き、ちょっと楽器を説明して、試させます。もちろん、すでに他の楽器を習っている人も新しい楽器を試すために参加できます。

年に数回、演奏会も開催されます。生徒たちは、この数か月で取り組んできたソロ曲を1・2演奏するほか、カルテットなどのアンサンブル曲も、ほかの生徒と一緒に練習・演奏します。だいたい親や友達が聞きに来ます。

私が学生するとき、周りの生徒のほとんどが楽器を習っていた記憶があります。でも、日本に来て、私が複数の楽器のレッスンを受けたことがあると言うと驚かれ、「お金持ちなんだ」と誤解されました。日本にも、誰でも簡単に音楽が習えるところが身近にあればいいなと思いました。そこで、篠笛と他の日本の伝統的な楽器を習えればうれしいなと思います。